

◇佐々木 正 君

○議長（後松一成君） 最後でございますが、35番の佐々木 正君の一般質問を許可いたします。

（35番 佐々木 正君 登壇）

○35番（佐々木 正君） 35番、佐々木正です。

美郷ブランドについてというようなことが所信表明の中にありましたが、それについて1点。それから、職員の給与についてということで2点質問をいたします。

まず所信表明の中で、農業振興については、消費者の求める安心安全を大切にして清浄なイメージで美郷ブランドの確立とあります。安心安全というものは大体わかります。無農薬あるいは減農薬、それから無化学肥料で有機栽培というようなことだと思います。ただ、清浄なイメージで美郷ブランドというようなこと、先ほど福松さんに回答しましたが、これからJAと相談してやるというようなことのようにでした。ただ、JAでもブランド化した作物は全国区のようなものはありません。それから、県内でも山内のいものこのように、ほかの産地のいものこと価格差があるようなものはありません。そのようなことで、町長は過去県の農政関係で頑張ってこられました。具体的なある程度のイメージを持った農産物をブランド化するというようなことを考えていると思います。そういうことで、ある程度具体的なものを伺いたいと思います。それでどのような農産物をどのようにつくり、ブランド化するかということ伺いたいと思います。

2番目、職員の給与です。

平成16年11月1日、3町村が合併して美郷町がスタートしました。町村の合併は、いわゆる日本的なリストラ策であり、町村長、議会議員の削減、10年後まで職員も100名ほど減らすというようなことです。しかしながら、職員の給与については触れられておりません。その職員の給与も合併につながる一因だと思っております。

過去に、町民には職員の給与に対する不公平感を感じている方々も多々ありました。それでちょっと調べてみました。平成15年度のもので、県の職員の年収41歳平均で698万円です。それから、ほかのところはわかりませんでした。仙南村の職員の平均年収が573万円です。あとちょっと伺いましたが、平成15年1月から12月までのものだと思いますが、六郷町の給与所得者3,175名の給与が86億413万9,000円、つまり年収が1人当たり271万円だそうです。県の職員が698万円、仙南村の職員が573万円、六郷町の給与者関係が271万円の平均年収だそうです。それで私もこれを見てちょっとびっくりしたけれども、町長、この年収を見てどう思われますか。伺いたいと思います。以上です。

○議長（後松一成君） 答弁を求めます。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） 佐々木議員のご質問にお答えいたします。

初めに、美郷ブランドについてですが、消費者は食に安全と安心を求めています。私たちの美郷町は清浄な清水があり、さらに低農薬や有機栽培を重ね合わせると、そこに安心感を伴う農産物イメージがわいてきます。今後一層激化する産地間競争には、消費意欲をそそぐイメージ戦略が不可欠ですが、こうした農産物イメージを米を初め重点作物として位置づけられるアスパラやホウレンソウ、キュウリ、トマトなどに付加していくことが必要と存じます。そのため一定の栽培基準をJAを含む任意団体等の農業者団体と連携を図りながら策定し、農業者がそれを遵守するとともに、高品質の付加価値農産物を生産し、包装等で美郷ブランドという名称を統一使用し、市場流通等において優位性を確保したいほか、地産地消においても付加価値農産物として消費者に認知してもらうように取り組んでまいりたいと考えております。

なお、旧仙南村におきましては、米については仙南ブランドとして仙南村の名称が化粧袋に印刷されるように要請してまいりましたし、また特産品シールを村が作成し、既存の野菜等の包装にそのシールを添付して仙南ブランドを強調してきた経緯がありますので、ご紹介させていただきます。

次に、職員給与についてですが、公務員の給与水準を示す指数としてラスパイレス指数というものがありますが、旧六郷町では89.9、旧千畑町では92.9、旧仙南村では91.8と、国家公務員を100とした場合、約10ポイントぐらい低くなっております。また、平均年収は同一職種の県職員と比較すると100万円程度低い状況です。異業種との比較では、数字的には高い平均年収となっておりますが、平均年収の算定基礎となっている平均年齢や経験年数あるいは勤務実態などが不明であるとともに、異業種でありますので単純比較はできないものと考えております。いずれにいたしましても、町職員給与は人事院勧告や県ほかの地方公共団体との均衡を考慮し、議決を経て定めておりますので、ご理解いただきたいと存じます。

以上をもちまして答弁を終わります。

○議長（後松一成君） 35番。

○35番（佐々木 正君） 1番目、美郷ブランドについてです。

町長は今仙南ブランドでやった、それから特産品のシールを張ったとかと言われております。それでブランドになったかどうか。まずほかの産地のものより高く売れたとか、余計売れたとか、そういうものがあつたかどうか伺いたいと思います。

それと、この給料関係です。まず町長が言うとおりに、一般の給与所得者のものは何歳でどんなあれだかわからないけれども、ただこれから200万円も300万円もふえて町の職員と同じくらいということはとてもないと思います。何も平均がふえてみたって50万円かそこらだろうと思います。それを見ればやっぱり高過ぎると思います。町の職員が一般の町民より多く汗を流して、やっぱり頑張ってもらおうということでないといけないと思います。それこそ町民が不公平感を抱くようなものではできないし、それに町長は公平と言っているけれども、町の職員は高く、一般の町民は低いというのは公平ではないと思いますので、そこらあたりちょっとお願いします。

○議長（後松一成君） 答弁。

○町長（松田知己君） 再質問に答弁させていただきます。

まずブランド化の問題につきましては、旧仙南村での取り組みで有利に販売されたというところまでは残念ながら至っておりません。したがって、美郷町においてなお一層力を入れて頑張ってもらいたいという思いです。

それから、給与につきましても、異質のものを同一に比較すること自体が無理があるというふうに存じますので、単純に給与水準が高い低いというものを金額だけでは論じられないというふうに考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（後松一成君） 35番。

○35番（佐々木 正君） いろいろブランド化するというのはどんなものだからというのは、町長はわかっていると思いますが、同じようなよい生産物を継続的に、それから多量のロット数を出荷する必要がある。それこそ多大な労力と長い年月を必要とするものだと思います。それで今合併して、これから10年後何とかなるのかわかりません。それで今のJAにしたって、どんなものかわかりません。それこそ合併したのもなかなかうまくいかなくて、出資金出してくれるのを待っているような状況です。それこそもっと町長がリーダーシップを持って、どこまでもやってもらいたいと思います。

それから、先ほども言いましたが、合併したからには職員が「おれここの仕事だから、これしかわからねえ」とか、「あっちの方だばできね」とか、そういったものでなく、やっぱり1人2役とか3役とか頑張ってもらって、それこそ町民が不公平感を抱かないような町政をやってもらいたいと思います。答弁を求めます。

○議長（後松一成君） 答弁。

○町長（松田知己君） 答弁させていただきます。

職員がこれまでの自分の経験を踏まえながら、今現在所管している業務以外の部分についても経験を生かして町民に行政サービスを行う、あるいは行政相談に乗るということは、町職員

として当然のことと理解しますので、そういった職員の体制になりますように今後一生懸命頑張ってまいりたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。以上です。

○議長（後松一成君） 35番。

○35番（佐々木 正君） 町長のリーダーシップに期待して終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

○議長（後松一成君） 以上で、35番の佐々木 正君の一般質問を終結いたします。